

各位

会社名 株式会社ソフトフロントホールディングス
代表者名 代表取締役社長 二通宏久
(コード番号：2321 東証グロース)
問合せ先 グループ業務推進室 狩野 健治
電話 03-6550-9270

新たな事業の開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、新たな事業を開始することにつきまして、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 事業開始の趣旨

当社グループは、活動方針であります「売りやすく、作りやすく、使いやすく」を掲げ、マーケティング(認知度向上)や顧客に寄り添う支援体制の強化、プロダクト開発に積極的に取り組むとともに、過年度から引き続き収益構造の改善に取り組み、当社グループの主力商品であります、自然会話AIプラットフォーム「commubo(コミュボ)」、クラウド電話サービス「telmee(テルミー)」及びWebサイトやコンテンツを簡単に構築・管理・更新できるシステム「SITE PUBLIS(サイトパブリス)」の事業展開を推し進めております。「commubo」及び「telmee」は月額課金のストック型ビジネスであり、「SITE PUBLIS」も保守契約等のストック型ビジネスであることから、今後も顧客数の伸びに応じて安定的な収益が堅調に推移するものと見込んでおります。

しかしながら当社グループといたしましては、2020年3月期まで9期連続の営業損失を計上しており、2021年3月期において黒字転換を果たしたものの、2022年3月期以降再び営業損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象または状況が存在していると認識をしております。このような状況の中、当社グループの業容拡大による新たな収益基盤の確保を喫緊の課題として、当社グループの隣接事業分野におけるM&Aを含め新規事業分野への進出についても検討を進めてまいりましたが、この度本日付にて公表しました「第三者割当による新株式及び第15回新株予約権の発行並びに主要株主、主要株主である筆頭株主の異動(見込み)に関するお知らせ」及び「ノアソリューション株式会社との業務提携基本合意書の締結に関するお知らせ」に記載のとおり、GCL Nihon株式会社(代表者：代表取締役 王 世宏 所在地：東京都千代田区内幸町二丁目1番1号)及びノアソリューション株式会社(代表者：代表取締役 白 光一 所在地：東京都品川区南大井六丁目21番12号 大森プライムビル8階)との協働による「AIデータセンター事業」及び「クリーンエネルギー事業」を開始することといたしました。

2. 新たな事業の概要

(1) 新たな事業の内容

企業のIT機器やデータを安全に保管・運用するための施設を整備・提供する「AIデータセンター事業」及び、温室効果ガスを排出しないまたは温室効果ガスの排出量を抑えたクリーンエネルギーを生成・利用する「クリーンエネルギー事業」の展開を進めてまいります。なお、「AIデータセンター事業」及び「クリーンエネルギー事業」については、本日公表の「第三者割当による新株式及び第15回新株予約権の発行並びに主要株主、主要株主である筆頭株主の異動(見込み)に関するお知らせ」及び「ノアソリューション株式会社との業務提携基本合意書の締結に関するお知らせ」を併せてご参照ください。

(2) 当該事業を担当する部門

新規事業の開始に向けた代表取締役をプロジェクトリーダーとしたプロジェクトチームを立上げ、新規事業開始時において事業グループを新設いたします。

(3) 当該事業の開始のために支出する金額及び内容

本日公表いたしました「第三者割当による新株式及び第15回新株予約権の発行並びに主要株主、主要株主である筆頭株主の異動（見込み）に関するお知らせ」に記載のとおり、新株式発行により調達する資金の使途として「AIデータセンター事業」に800百万円、「クリーンエネルギー事業」に200百万円を充当することを予定しております。

また、新株予約権の発行により調達する資金の使途として、「AIデータセンター事業」に1,371百万円、「クリーンエネルギー事業」に200百万円を充当することを予定しております。

「AIデータセンター事業」におきましては、プライベート・クラウド/オンプレミスによるAIデータセンターのIaaS（Infrastructure as a Service）の提供及び運用管理を担う予定であり、高度なセキュリティ環境下で顧客情報の管理を徹底したAIデータセンターの提供、及びIaaSサービス及びGPUのレンタル事業を2025年4月から行っていく予定です。

当該事業における開発、人材の採用に伴う資金として800百万円を以下の目的に充当する予定であり、投資資金の概要といたしましては、AIデータセンターで膨大な演算処理を行うための設備費用として、GPUサーバーの購入、ハウジング提供されるデータセンター建物内への設置、監視/保守作業を行うサーバールームの建設に充当する資金として691百万円、AIデータセンター事業の体制構築として、販売や保守・運用を行う人材（8名程度）の採用関連費用及び人件費に充当する資金として109百万円を充当することを予定しております。

また、新株予約権発行により調達した資金につきましては、設備追加増強資金として1,371百万円を充当することを予定しております。

「クリーンエネルギー事業」におきましては、生成AIの普及に伴い、生成AIのトレーニングや運用においては大量の計算資源が必要であり、そのため大量の電力が消費されることから電力需要が急増していることから、生成AIの普及が進むにつれて、電力需要がさらに増加することが予想され、1996年に設立されたクリーンで持続可能な発電を専門とする国際的なエネルギーコングロマリット企業である、Golden Concord Group Limited（以下「GCL社」という）がこれまで培ってきたクリーンエネルギー事業に関するノウハウを活用することで、クリーンエネルギーを活用したAIデータセンター向け発電事業に進出し、当社及びGCL社が共同で中小規模の蓄電所を構築し、2025年10月から運営することを予定していく予定です。

当該事業における設備である系統蓄電所の建設費用として200百万を充当することを予定しております。また、新株予約権発行により調達した資金につきましては、追加設備投資資金として200百万円を充当することを予定しております。

3. 日程

- (1) 取締役会決議日 2025年1月27日
- (2) 事業開始日 2025年4月1日（予定）

4. 今後の見通し

本件による今期業績に与える影響は軽微と考えております。なお、第三者割当による新株式及び第15回新株予約権の発行によって調達する資金は、2026年3月期において既存事業及び新規事業の投資に充当する予定ですが、当社の業績に与える具体的な影響については精査中です。今後、業績への具体的な影響額が明らかになった場合には速やかに開示いたします。

また、2024年6月24日付にて「事業計画及び成長可能性に関する事項」により事業計画を公表いたしておりますが、調達した資金を新規事業への投資を予定していることから、事業計画を見直し「事業計画及び成長可能性に関する事項」につきましても更新を予定しております。

以 上